

Mizuho Daily Market Report

2023/4/13

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	133.84	133.13	▲0.55	+1.81
EUR	1.0928	1.0992	+0.0080	+0.0088
AUD	0.6662	0.6691	+0.0037	▲0.0029
SGD	1.3320	1.3279	▲0.0047	+0.0000
CNY	6.8850	6.8730	▲0.0130	▲0.0063
MYR	4.4124	4.4093	▲0.0092	+0.0098
THB	34.22	34.25	+0.02	+0.38
IDR	14882	14880	▲3	▲45
PHP	55.23	55.24	+0.33	+0.82
INR	82.05	82.09	▲0.04	+0.09

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.391%	▲3.6 bp	+8.0 bp
日本(10年)	0.469%	+0.6 bp	▲1.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.370%	+5.9 bp	+18.8 bp
オーストラリア(5年)	2.989%	+2.6 bp	▲0.4 bp
シンガポール(5年)	2.816%	+1.0 bp	▲5.4 bp
中国(5年)	2.652%	▲0.5 bp	▲3.3 bp
マレーシア(5年)	3.524%	+0.3 bp	+0.8 bp
タイ(5年)	2.083%	▲0.2 bp	+0.2 bp
インドネシア(5年)	6.368%	+0.7 bp	+1.1 bp
フィリピン(5年)	5.949%	+2.0 bp	+18.9 bp
インド(5年)	7.021%	▲2.0 bp	▲12.1 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,646.50	▲0.1%	+0.5%
N225(日本)	28,082.70	+0.6%	+1.0%
STOXX60(ユーロ圏)	4,334.03	+0.0%	+0.8%
ASX(オーストラリア)	4,248.79	+0.5%	+2.1%
FTSTI(シンガポール)	3,286.12	▲0.4%	▲1.0%
SSEC(中国)	3,327.18	+0.4%	+0.4%
KLSE(マレーシア)	1,434.74	▲0.1%	+0.4%
SETI(タイ)	1,592.67	▲0.3%	+1.4%
JKSE(インドネシア)	6,798.964	▲0.2%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,469.42	▲0.2%	▲0.3%
SENSEX(インド)	60,392.77	+0.4%	+1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	275.73	+0.4%	+1.3%
金	2,014.93	+0.6%	▲0.3%
原油(WTI)	83.26	+2.1%	+3.3%
銅	8,916.80	+0.7%	+1.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	132.60	—	134.20
EUR/USD	1.0850	—	1.1230
AUD/USD	0.6600	—	0.6710
USD/SGD	1.3260	—	1.3360
USD/CNY	6.8450	—	6.9080
USD/MYR	4.3750	—	4.4320
USD/THB	33.90	—	34.50
USD/IDR	14820	—	14960
USD/PHP	54.60	—	55.90
USD/INR	81.80	—	82.40

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は133円台半ばの水準でオープン。ユーロ円が昨年12月以来の高値を更新し、株式市場が堅調推移するなかクロス円の買いが継続するなか、ドル円は134円台前半まで上昇。本日発表を控える米CPIを前にドル円は133円台後半に値を戻し海外時間へ。アジア通貨については、NY時間に米3月CPIの公表を控えるなか、方向感を欠く展開となった。

海外時間のドル円は米3月CPI発表待ちで様子見ムードが強く、積極的な取引は手控えられるなか、133円台後半の水準にてNYオープン。NY時間朝方は注目の米3月CPI(前月比)が予想を下回り、市場はドル売りで反応し、132円台後半まで急落。しかし、米3月コアCPI(前月比)が予想通りとなり、インフレが予想以上の減速を示さなかった事から、次第に買い戻し優勢となり133円台半ばまで戻す。NY時間午後は米3月FOMC議事録が公表され、「多くの当局者がピーク金利見直しを引き下げ」とのヘッドラインが伝わると、ハ派色の強い内容を受け133円台丁度付近まで売り戻される。その後は次第に動意乏しくなり、133円台前半の水準でクローズ。

【金利】

米債市場はカーブがツイスト・スティーブ化。市場予想を下回る米CPIを受けて金利は低下した後、一旦は低下幅を縮小するものの、FOMC議事要旨を受けて再び金利低下。

【予想】

本日のドル円は軟調推移を予想。昨日の米CPIの結果を受けたドル売りが継続すると想定するものの、コア指数が予想通り前月比増加したことや、前日のNY時間中にやや買い戻しの動きがあったことを踏まえると、下値は限定的だろう。

【本日の予定】

(日本) 3月 マネーストックM2、M3
(日本) 流動性供給入札
(アジア) 3月 中国 貿易収支
(アジア) 3月 豪 雇用統計
(アジア) 3月 韓国 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(アジア) 4月 豪 消費者インフレ期待
(アジア) 休場 4日
(欧州) 2月 ユーロ圏 鉱工業生産
(欧州) 2月 伊 鉱工業生産
(欧州) 2月 独 経常収支
(欧州) 2月 英 GDP / 商品貿易収支
(欧州) 2月 英 鉱工業生産 / 製造業生産 / サービス業指数
(欧州) 3月 愛 CPI
(欧州) 3月 独 CPI(確)
(欧州) 3月 英 RICS住宅価格
(欧州) 伊 国債入札(3Y、7Y)
(米国) 3月 PPI
(米国) 国債入札(30Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。